

IV 調査観察に関する事項
1 主要病害虫の発生概況

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
水稻 47,700	いもち病 (苗いもち)	-	並	-	例年同様、発生は認められなかった。
	いもち病 (葉いもち)	並	並	16,400	6月には発生が認められず、7月上旬に平年並の発病株率及び発病度となった。7月中旬以降はやや少で推移した。
	いもち病 (穂いもち)	並	やや少	2,800	収穫期から発生が認められ、やや少の発病穂率及び発病度となった。
	紋枯病	並	並	19,400	7月上旬から発生が認められ、収穫期まで平年並の発病株率及び発病度で推移した。
	白葉枯病	-	並	0	発生は認められなかった。
	もみ枯細菌病 (苗腐敗症)	並	やや多	800	1地点で発生が認められた。
	もみ枯細菌病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	ごま葉枯病	並	並	13,900	7月上旬から発生が認められ、収穫期まで平年並の発病株率及び発病度で推移した。また、本病による穂枯れ症状は見られなかった。
	黄化萎縮病	-	並	0	発生は認められなかった。
	苗立枯病	並	やや少	0	発生は認められなかった。
	ばか苗病 (苗)	並	やや多	7,700	7地点で発生が認められた。
	ばか苗病	並	やや多	700	1地点で発生が認められた。
	稲こうじ病	並	少	700	1地点で発生が認められた。
	縞葉枯病	並	多	6,200	7月下旬から収穫期にかけて、常発地ではやや多～多の発生となった。
	萎縮病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	黄萎病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	ニカメイガ	並	多	2,100	7月上旬から収穫期にかけてやや多～多の被害株率及び被害茎率となった。予察灯による成虫の誘殺数は、5月～9月までやや多～多で推移し、越冬世代及び第1世代ともに発生が多い傾向となった。
	セジロウンカ	並	少	2,500	本田すくい取り調査では、7月上旬から収穫期にかけて捕獲されたが、捕獲数は少～平年並で推移した。
	トビイロウンカ	-	並	0	発生は認められなかった。
	ヒメトビウンカ	早	多	47,700	本田すくい取り調査では、6月上旬から収穫期にかけて捕獲され、捕獲数はやや多～多で推移した。
	ツマグロヨコバイ	早	並	33,200	本田すくい取り調査では、6月上旬から収穫期にかけて捕獲され、6月上旬の捕獲数は多、7月上旬～7月下旬の捕獲数はやや少～平年並、収穫期はやや多となった。
	斑点米カメムシ類	並	多	19,800	本田すくい取り調査について、大型斑点米カメムシ類の捕獲虫数は、7月上旬～7月下旬は多、収穫期は平年並であった。カスミカメムシ類は7月上旬～収穫期にかけて平年並であった。予察灯による誘殺数は、クモヘリカメムシとホソハリカメムシは7月～9月はやや多～多、その他の大型斑点米カメムシ類は平年並～やや多となった。
	イネミズゾウムシ	並	並	33,400	平年並の発生であった。
コブノメイガ	-	並	0	発生は確認されなかった。	
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	並	並	2,700	6月にやや多の被害苞数となったが、7月上旬にはやや少となった。以降は発生が見られず、平年並となった。	
フタオビコヤガ	並	並	0	平年並の発生であった。	
イネゾウムシ	並	並	25,300	平年並の発生であった。	
イネドロオイムシ	並	並	20,500	平年並の発生であった。	
イネクロカメムシ	並	並	2,100	生育期間全般において、成幼虫寄生株率はやや少～平年並で推移した。予察灯による誘殺数は、5月に多、9月にやや多となり、越冬世代及び第1世代ともに発生が多い傾向となった。	
スクミリンゴガイ	やや早	やや多	9,700	特定の調査地点で貝密度が高く、被害株率は5月上旬～6月上旬までやや多で推移した。	
サツマイモ 3,610	ハスモンヨトウ	並	やや多	1,810	10月にやや多発生となった。
	ナカジロシタバ	やや遅	並	720	平年並～やや少ない発生であった。
	イモキバガ	やや遅	並	720	平年並～やや少ない発生であった。

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
ラッカセイ 4,790	白絹病	並	並	2,880	平年並～やや少ない発生であった。
	褐斑病	並	並	4,790	平年並～やや少ない発生であった。
	そうか病	-	並	0	本年度は発生が認められなかった。
夏秋トマト 447	疫病	-	並	0	発生が認められなかった。
	葉かび病	並	並	0	調査圃場は全て耐病性品種のため、発生が認められなかった。
	灰色かび病	並	多	112	8月は多の発生、7、9、10月は発生が認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	発生が認められなかった。
	萎凋症	やや遅	多	50	9月は多の発生、7、8、10月は発生が認められなかった。
	オンシツコナジラミ	早	やや多	347	7、8、9月はやや多の発生、10月は並の発生であった。
	タバココナジラミ類	早	多	349	調査期間を通して多～やや多の発生であった。
	アブラムシ類	-	並	0	発生が認められなかった。
	ハスモンヨトウ	やや遅	多	112	7、8、9月は発生が認められず、10月は多の発生であった。
	アザミウマ類	並	やや少	89	7月はやや少の発生であり、8～10月は発生が認められなかった。
	ハモグリバエ類	-	並	0	寄生が認められなかった。
	タバコガ類	-	多	50	9月は多の発生であり、7、8、10月は発生が認められなかった。
冬春トマト 226	疫病	-	並	0	発生が認められなかった。
	灰色かび病	並	多	68	多～並の発生であった。
	うどんこ病	並	多	181	12～1月に多発生となった。
	黄化葉巻病	並	多	90	12月に多発生となった。
	すすかび病	並	多	45	1月に多発生となった。
	葉かび病	-	並	0	発生が認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	発生が認められなかった。
	萎凋症	-	並	0	発生が認められなかった。
	オンシツコナジラミ	-	並	0	発生が認められなかった。
	タバココナジラミ類	並	やや多	23	12、3月はやや多の発生であった。11～2月は発生が認められなかった。
	アブラムシ類	-	並	0	発生が認められなかった。
	ハスモンヨトウ	並	並	0	寄生が認められなかった。1月は被害が認められた。
アザミウマ類	-	並	0	発生が認められなかった。	
ハモグリバエ類	並	並	23	12月は並の発生であり、1～3月は発生が認められなかった。	
タバコガ類	-	並	0	発生が認められなかった。	
冬春キュウリ 190	べと病	並	並	76	11～1月は並の発生、2月は少の発生であった。
	うどんこ病	並	やや少	152	やや少～少の発生であった。
	灰色かび病	並	並	38	11～1月は発生が認められず、2月はやや少の発生であった。
	菌核病	-	並	0	発生が認められなかった。
	斑点細菌病	-	並	0	発生が認められなかった。
	炭そ病	-	並	0	発生が認められなかった。
	褐斑病	並	多	38	12月はやや多の発生、2月は多の発生であった。
	疫病	-	並	0	発生が認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	発生が認められなかった。
	黄化病	-	並	0	発生が認められなかった。
	アブラムシ類	-	並	0	発生が認められなかった。
	ハスモンヨトウ	-	並	0	発生が認められなかった。
	オンシツコナジラミ	並	やや多	76	やや多～やや少の発生であった。
	タバココナジラミ類	並	やや多	76	11、12、2月はやや多の発生、1月は並の発生であった。
	ワタヘリクロノメイガ	-	並	0	発生が認められなかった。
	アザミウマ類	並	やや多	76	11～1月は発生が認められず、2月はやや多の発生であった。
ハモグリバエ類	並	やや多	38	11月はやや多の発生であり、12～2月は発生が認められなかった。	
ハダニ類	-	並	0	発生が認められなかった。	

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
スイカ 947	つる枯病	並	やや多	90	4、5月は発生が認められなかったが、6月はやや多の発生であった。
	炭そ病	-	並	0	発生は認められなかった。
	うどんこ病	並	やや多	470	4、5月は発生が認められなかったが、6月はやや多の発生であった。
	アブラムシ類	早	やや多	570	4、5月はやや多の発生、6月は並の発生であった。
	ハダニ類	やや早	多	470	4、5月は多の発生、6月は並の発生であった。
春キャベツ 1,230	ウリハムシ	早	多	90	4月は多の発生であり、5、6月は発生が認められなかった。
	菌核病	並	やや多	490	4月にやや多発生となった。
	灰色かび病	並	並	250	4月に発生が認められた。
	黒腐病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	腐敗病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アブラムシ類	並	多	740	12月に多発生となった。
	コナガ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	モンシロチョウ	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	タマナギンウワバ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
ハスモンヨトウ	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。	
冬キャベツ 1,390	ヨトウガ	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	菌核病	並	やや多	350	1月に発生が認められた。
	灰色かび病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	黒腐病	並	やや多	1,390	12月以降にやや多発生となった。
	腐敗病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アブラムシ類	並	多	850	10月に多発生となった。
	コナガ	並	並	280	平年並～やや少ない発生であった。
	モンシロチョウ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	タマナギンウワバ	早	多	570	10月に多発生となった。
秋冬ネギ 1,220	ハスモンヨトウ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ヨトウガ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	さび病	-	並	0	発生が認められなかった。
	べと病	-	並	0	発生が認められなかった。
	黒斑病	並	並	170	7月は並の発生であり、8～12月は発生が認められなかった。
	萎縮病	-	並	0	発生が認められなかった。
	アブラムシ類	並	多	0	7～10月は発生が認められず、11月はやや多の発生、12月は多の発生であった。
	ハスモンヨトウ	-	並	0	発生が認められなかった。
	シロイチモジヨトウ	並	多	730	7月は発生が認められず、8～12月は多の発生であった。
冬レタス 314	ネギハモグリバエ	並	やや多	610	やや多～少の発生であった。
	ネギアザミウマ	並	並	1,220	並～少の発生であった。
	ネギコガ	並	やや多	240	やや多～並の発生であった。
	灰色かび病	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。1、2月はやや少の発生となった。
	菌核病	-	やや少	0	本作期は発生が認められなかった。
	萎黄病	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。
	斑点細菌病	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。
腐敗病	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。	
べと病	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。	
アブラムシ類	並	並	60	11、1、2月は並、12月はやや多の発生となった。	
ハスモンヨトウ	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。	
ネキリムシ類	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。	
オオタバコガ	-	並	0	本作期は発生が認められなかった。	

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
サトイモ 860	汚斑病	並	並	510	6～8月は並、9月はやや多の発生となった。
	モザイク病	並	やや多	860	6月は並、7月は多、8月は並、9月はやや多の発生となった。
	アブラムシ類	並	やや少	810	6、7月は並、8、9月はやや少の発生となった。
	ハスモンヨトウ	やや遅	並	350	6～8月は発生は認められず並、9月はやや多の発生となった。
イチゴ 220	ハダニ類	並	並	870	6月は少、7月は並、8月は多、9月は並の発生となった。
	灰色かび病	やや遅	並	50	10～1月は発生が認められず、2、3月は並の発生であった。3月は果実に発病が認められた。
	うどんこ病	並	並	80	発病株率は並～やや少で推移した。1、3月は果実に発病が認められた。
	炭そ病	-	並	10	11月は並の発生、10、12～3月は発生が認められなかった。
	アブラムシ類	並	やや多	50	10～12月は並～少の発生、1～3月はやや多の発生であった。
	ハスモンヨトウ	並	やや多	50	10月はやや多、11～3月は並の発生であった。
	コナジラミ類	並	やや少	40	10月は並、11～3月はやや少～少の発生であった。
	ハダニ類	並	少	60	少の発生であった。
ナシ 1,300	ミカンキイロアザミウマ	並	やや多	40	10～12月は発生が認められず、1、2月はやや多の発生、3月は並の発生であった。
	黒星病	やや早	並	380	発生時期はやや早く、平年並の発生であった。
	赤星病	並	並	40	平年並の発生であった。
	輪紋病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	うどんこ病	並	やや少	0	発生量は平年よりやや少なかった。
	カメムシ類	-	やや多	470	7月、8月の発生量が多かった。
	シンクイムシ類	並	並	0	平年並の発生であった。
	ハマキムシ類	-	並	40	平年並の発生であった。
	ハダニ類	早	並	190	発生時期は早く、発生量は並であった。
	ナシチビガ	-	並	0	例年同様、発生は確認されなかった。
	ニセナシサビダニ	並	並	500	モザイク症状の被害葉は平年並であった。
	吸ガ類	-	並	120	平年並の発生であった。
	アブラムシ類	並	並	390	平年並の発生であった。
カンキツ 95	カイガラムシ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	そうか病	並	多	57	葉は3月から発生が見られ、果実は6月の幼果期から発生し、多発生であった。
	黒点病	並	並	38	10月に発生が見られ、平年並であった。
	かいよう病	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	ミカンハダニ	並	多	57	5月から発生が見られ、7月、10月及び11月は多発生であった。
	カメムシ類	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	ハマキムシ類	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	ヤノネカイガラムシ	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	ミカンハモグリガ	並	やや多	38	5月及び7月に発生が見られ、やや多の発生であった。
	クワゴマダラヒトリ	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
ビワ 136	アブラムシ類	並	少	17	9月に発生が見られたが、少発生であった。
	灰斑病	並	多	136	3月から発生がみられ、4月以降は多発生であった。
	アブラムシ類	並	やや多	34	5月に発生が見られ、やや多の発生であった。
	カミキリムシ類	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
ストック 38	カメムシ類	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	菌核病	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	萎凋病	並	多	20	1月及び2月に発生が見られ、多発生であった。
	黒腐病	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	コナガ	並	やや多	15	10月から発生が見られ、やや多の発生であった。
	アブラムシ類	並	並	7	12月に発生が見られ、平年並であった。
ハイマダランメイガ	並	多	0	10月から12月にかけて発生が見られ、多発生であった。	

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
カーネーション 16	斑点病	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	立枯病	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	萎凋病	並	並	3	1月から3月にかけて発生が見られ、平年並であった。
	ハダニ類	並	並	0	1月に発生が見られ、平年並であった。
	アブラムシ類	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	シロイチモジヨトウ	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	ハスモンヨトウ	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	ヨトウムシ類	-	並	0	本年度の発生は見られず、平年並であった。
	アザミウマ類	並	やや多	10	9月から発生が見られ、やや多の発生であった。
オオタバコガ	並	やや多	3	9月及び10月に発生が見られ、やや多の発生であった。	